

サボア・モンブラン大学とオンラインイベントを開催しました！！

12月10日(金)18時からサボア・モンブラン大学（以下 USMB）とオンラインで交流イベントを開催しました。今年度の4月にはオンラインで学術交流協定の更新式を実施しましたが、それに続くイベントです。


USMB は香川大学の海外教育研究拠点に位置づけられています。1979年に創設され、8学部と19の研究所からなる学生数約15,000人の国立総合大学です。本部所在地のシャンベリーは、大学名となっているアルプスの名峰モンブランのあるスイスとイタリア国境近くに位置しています。香川大学とは、2000年に工学部（現創造工学部）を主管部局として学術交流協定を締結し、学生交流や共同研究を20年間にわたり実施してきました。

今回のイベントでは、最初に、インターナショナルオフィス徳田雅明特命教授から今までの交流の経緯について説明がありました。

先方からは、Polytech Annecy Chambéry(ポリテク・アヌシー・シャンベリー)の国際担当副学部長 Adrien Badel (アドリアン・バデル) 教授と IUT Chambéry (IUT シャンベリー) の国際担当 Sylvie Neyertz (シルヴィー・ネイエルトツ) 教授が出席し、USMB 全般の概要説明と各キャンパスについてご紹介いただきました。

ポリテク・アヌシー・シャンベリーは、日本と違い、学部が3年生制であること、工学の専門分野が4つあり、ヨーロッパ内に40もの協定校があり、香川大学を含め他国の大学とも交流が盛んであることをご紹介いただきました。IUT シャンベリーは、ビジネス・マルチメディア・土木・物質工学、それにパッケージングという5つの専攻があり、英語で実施されるプログラムや山や湖が近いことからスポーツも盛んであるなどのご紹介がありました。同じ大学でもポリテク・アヌシー・シャンベリーと IUT シャンベリーとは異なる特徴があることを当イベントを通して理解することができました。


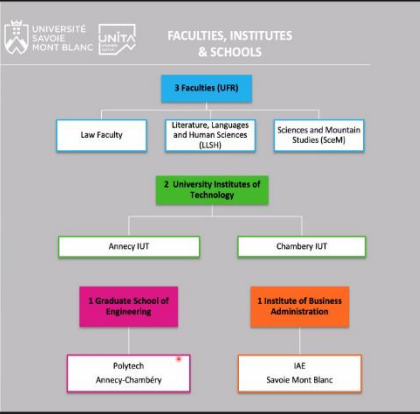
イベントの最後の Q&A セッションでは学生からの質問にバデル先生、ネイエルトツ先生が直接答えてくださいました。USMB との交流は、全学部へと展開を始めたところでコロナ禍でトーンダウンを余儀なくされていますが、4月の協定更新式と今回のイベントで繋ぎとめ、上向きへと向かわせる意味のある取り組みとなりました。

20年にわたる交流  

- 2000年 工学部とサボア大学(当時)・ポリテックと国際インターンシップ協定締結、学生交流・研究交流
- 2007年 サボア大学を海外教育研究交流拠点に指定
- 2016年 サボア・モンブラン大学(USMB)副学長らへ香大表敬訪問
- 2018年 USMB-IUTとの交流開始 教職員派遣・受入、学生派遣・受入 [ERASMUS +]
- 2019年 香川大学副学長らのUSMB表敬訪問
- 2021年 全学学術交流協定の更新




インターナショナルオフィス 徳田雅明特命教授による
香川大学とサボア・モンブラン大学との交流の紹介



UNIVERSITÉ SAVOIE MONT BLANC UNIFA

FACULTIES, INSTITUTES & SCHOOLS

- 3 Faculties (UFR)
 - Law Faculty
 - Literature, Languages and Human Sciences (LLSH)
 - Sciences and Mountain Studies (SciM)
- 2 University Institutes of Technology
 - Anecy IUT
 - Chambery IUT
- 1 Graduate School of Engineering
 - Polytech Anecy-Chambery
- 1 Institute of Business Administration
 - IAE Savoie Mont Blanc



バデル先生によるポリテク・アネシー・シャンベリーの説明

ネイエルトツ先生による IUT シャンベリーのご説明



集合写真